

# 北農工 総会・表彰式など開催

青柳会長  
を再任

## IHIスターと石村鉄工表彰



あいさつする青柳会長

一般社団法人北海道農業機械工業会（青柳総会）

長は20日午後、札幌市内の札幌全日空ホテルにおいて、「第63回通常総会」、「214回理事会」などを開催。今回は役員改選期に当たり、会長に青柳稔氏（㈱IHIスター社長）が、副会長に土谷合次氏（㈱土谷製作所会長）が、それぞれ再任され、副会長に松田和之氏（訓子府機械工業㈱社長）が、専務理事に玉木哲夫氏（北農工前事務局長）が、それぞれ新任された。

総会の冒頭挨拶に立った青柳会長は、農作業の進捗状況などに触れた後に、「今年は、我々農業機械業界にとって、一つの転換の年になる気がする。会員一同、日本の農業、北海道の農業を発展させるために協力していきたい」などと話した。

総会では、青柳会長を議長に議事に入り、26年度事業報告・収支決算、27年度事業計画・収支予算などを審議、事務局原案通り可決した。

次に、平成27年度表彰式に移り、「第32回優良農業機械・施設等開発改



「会長賞」を青柳会長から受けるIHIスターの森氏（左側）と高橋氏（右側）

良表彰 会長賞」では、  
㈱IHIスター（森素広氏、高橋端子氏）の「可変施肥ブロードキャストAG-PORT付きブ

ロードキャストシリーズ」と、㈱石村鉄工（石

村聡英氏）の「ヘビーカー装着型湿田用ケージローラ スター型ローラIVSIK-T8」が表彰された。

「従業員功労表彰」では8人が表彰され、「永年継続役員感謝状」が村井信仁氏に贈呈された。



青柳会長

北海道農業機械工業会は5月20日、第63回通常総会並びに平成27年度表彰式などを札幌市内の札幌全日空ホテルで開催した。26年度の農業機械出荷調査結果の報告や、27年度の事業計画など10議案が承認された。また、第214回理事会が行われ、重任した青柳総会長は「今後も北海道農業発展のため、会員企業の皆様と協力して行っていく」と挨拶した。

第63回通常総会は2件の報告事項と10件の審議事項を中心に進み、報告事項では平成26年度農業機械出荷調査結果を発表。26年度は他社仕入れを含めた出荷金額が2

15億4000余万円、前年度比97・9%だったことなどを報告した(詳細次号)。また、第214回理事会で会長、副会長、専務理事の選定が行われた。新役員は次の通り

▽敬称略  
▽会長 青柳 稔(重任) / IHIスター、▽副会長 松田和之(新任) / 訓子府機械工業、▽同 訓子府機械工業、▽同 土谷令次(重任) / 土谷製作所、▽専務理事 玉木哲夫(新任)。  
表彰式では優良農業機械・施設等開発改良表彰が行われ、会長賞には①

IHIスターの可変施肥ブロードキャスタ/AG-PORT付きブロードキャスタシリーズ②石村鉄工のヘビーカーチ装着型湿田用ケージローラ/スター型ローラ/VS IK-T8Sが受賞。審査

委員長の柴田洋一北海道大学大学院農学研究院教授が、「①は、日本農業機械工業会が定める農業機械間の通信規格であるAG-PORTに適合し、次世代型農機の普及に貢献する」として高く評価。②はカルチベータを用いた湿田での耕起砕土作業で、砕土用ケージローラに土が付着したり、ローラへ土壌が入り込み作業性が著しく損なわれる問題を改善した」などの選定理由を説明。石村 聡英石村鉄工代表取締役が代表し謝辞を述べた。また、従業員功労表彰に続き、顧問として北農



総会で挨拶を述べる青柳会長

### 業界には大変換点

【青柳総会長挨拶要旨】  
昨年7月に「第33回国際農業機械展in帯広」が8年ぶりに開催された。5日間の総入場者数は約20万人で、ICTを活用した管理支援システムやロボットトラクタなどの新たな技術に来場者は目を張っていた。ますます加速してグローバル化する農業機械のトレンド

に対し、来場された方々にも増して目を光らせていかなければならないと痛切に感じたイベントだった。また、今年6月にはJICA北海道が主催し、本会も協賛する「道内農業機械業界向けODAを活用した海外展開セミナー」を札幌と帯広で開催する。発展途上国に対し

村井信仁氏へ永年継続役員感謝状を贈呈。寒川卓知経済産業省北海道経済産業局地域経済部長、竹内秀幸北海道経済部産業振興局局長が来賓代表で祝辞を述べた。

各種表彰者(敬称略)  
【第32回優良農業機械・施設等開発改良表彰会長賞】①IHIスター可変施肥ブロードキャスタ/AG-PORT付きブロードキャスタシリーズ②石村鉄工ヘビーカーチ装着型湿田用ケージローラ/スター型ローラ/VS IK-T8S

【従業員功労表彰】▽吉井邦弘(IHIスター)▽辻岡紀子(同)▽中野博(同)▽佐藤正樹(スガノ農機)▽真田尚子(東洋農機)▽横山広志(同)▽小野寺誠(同)▽吉田信也(北海道ニプロ)【永年継続役員感謝状】▽村井信仁

# 新副会長に松田氏が 就任

## 北農 工業 通常総会・表彰式を開催

### 正会員の出荷金額201億円で1%減



青柳会長

(一社)北海道農業機械工業会は、第63回通常総会並びに第214回理事會、表彰式、受賞祝賀會を開催した。

平成26暦年生産・出荷実績を発表。他社出荷実績を含めた出荷金額は215億4千万円(前年比2.1%減)で6万9千台(同11.6%増)となる旨を明らかにした。その内、正会員の出荷金額は201億円(同1%減)出荷台数は6万5700台(同11.9%増)となった。

また役員と三役を改選し、会長に青柳稔氏(1 HIスター)が再任。副会長は、道央・上川から1人、道東から1人選任する新基準の下で土谷令次氏(土谷製作所)の再任と、松田和之氏(訓子府機械工業)の新任を決定した。

また専務理事に玉木哲夫氏が、顧問に高井宗宏氏が就任。村井信仁氏と原令幸氏は退任した。



石村鉄工などが表彰される

また従業員  
が選ばれ表彰  
された。

また従業員  
が選ばれ表彰  
された。

一方、平成26年事業報告では、農業機械のPLラベルの普及推進で延101件、3万436枚配布した旨も公表した。

続く表彰式では優良農業機械・施設開発改良機として、北海道農業機械工業会会長賞に(株)石村鉄工のヘビーカーチ装着型湿田用ケーシローラ(スター型ローラー)VISIK-T8Sと、(株)IHIスターの可変施肥ブロードキャスト(AGIPOR T付きブロードキャスト)MBC\*SE/PE/WEが選ばれ表彰された。

功労表彰では、(株)IHIスターの生産本部生産管理課の吉井邦宏主任と同本部同部生産計画課の辻岡紀子氏、同本部製造部加工課機械職の中野博氏、スガノ農機(株)の佐藤正樹氏、東洋農機(株)の真田尚子氏、横山広志氏、小野寺誠氏、北海道ニプロ(株)の吉田真也氏の4社8人が選ばれた。

受賞祝賀会では青柳会長が挨拶し「農業は日本が誇る産業であり、それを支える機械と携わる従業員が支えている。今回表彰されたような先進技術の開発で国内農業に貢献すると共に、世界に打

つて出る機会を捉え、積極的に展開しましょう」と述べた。

その後、来賓紹介の後、土谷副会長の音頭で乾杯が行われた。会では積極的な交流がなされるとともに、受賞者、来賓のスピーチが行われた。

つて出る機会を捉え、積極的に展開しましょう」と述べた。

その後、来賓紹介の後、土谷副会長の音頭で乾杯が行われた。会では積極的な交流がなされるとともに、受賞者、来賓のスピーチが行われた。